

2024年7月28日 意見交換会

ご意見記入用紙にいただいたご意見

本日の意見交換会を通して、さるびあ図書館の今後についてのご意見をお聞かせください。

・集約の方法が本当に決まっていないというのなら中央図書館とさるびあ図書館の役割分化をして中央図書館を国立国会図書館や都立図書館のような基盤型の資料集約地として児童サービスやコミュニティ維持機能をさるびあ図書館側に移すことも考えられるのではないかと。中央のオープンスペースやホール機能は図書館の併設設備でなくても続けられると思う。

・さるびあは建て替えを前提に残してもらいたい。中央のようにCDを取り扱ってほしい。

・新しい機能を加えた建替えが望ましい。読書室、多目的室、駐車場は残して欲しい。新しい本をもっと入れて欲しい。

・さるびあ図書館はなくさないで欲しい。

・意見交換会で出た意見を必ず市政に反映させてください。意見を出させるだけ出させて終わらせることのないようにお願いします。

・さるびあ図書館の存続を考えてほしい。

・町田でりっぱな歴史をもつさるびあ図書館を残すことが未来のためになると思います。単純に意見を聞き、ガス抜きする様なことが無い様にしてもらいたい。

・さるびあ、保健所等を建替え、一つのビル中に入れればよいと思います。

・さるびあ図書館と中央図書館の集約について町田市の考えをくわしく教えて下さい。

・公共施設は、図書館も含め集約せず残す。図書館はむしろ増やす(歩いて行ける場所としての図書館)必要を感じた。利用者が減っているのは図書館資料費を増やすことです。

・さるびあ図書館は残してほしい。中央とのきよりは大きく決して近接してはいない。集約ではなく図書館数、蔵書数共にもっと増やすべき。高齢化、人口減、税収減を根拠にした集約論は前提で負けている。イタリアポローニャ市のやり方を学んでほしい。

・さるびあ図書館を建てかえ等も含めて存続させてほしいとどの班からも意見がありました。きょうの意見交換会の結果をふまえて(尊重して)、結果さるびあ図書館を廃館にするということは絶対にしないで下さい。町田市全体の再編でも特に学校統廃合は中止を！

・本との出会いは子どもの成長に不可欠だったと、長く読書活動をしてきて感じることです。中町、森野地区の子どもたちの読書体験の良い機会となっているさるびあ図書館の役割は大きいと思います。教育施設である図書館事業の予算を増やして、これからの子ども達を育てる町田市に期待したいものです。

・公共施設の老朽化や厳しい財政状況といった市の問題点について理解を深め、問題意識を共有する機会になったと感じました。利用状況が減少しているから再編、老朽化しているから再編というパワーポイントでの説明は、短絡的と感じました。建物老朽化に伴い廃止ではなく建て替えによる行政サービスを維持向上させている自治体も多くあります。自宅の近くのさるびあ図書館をよく利用させていただいています。気軽に立ち寄って本を手にとることができ階段を少し上り下りして本を手にとれる子どもたちのスペースは広い窓があり光が入り、こいのぼりや七夕などの飾りもある、子どもにとっても大人にとってもいやされ、楽しめる空間だと思います。存続させてより良い図書館サービス、設備の方向性の検討をしてくださいますようお願いいたします。

・さく所、大半がさるびあ図書館維持継続であった。地域館の維持拡大が重要と思う。市民へのサービスの基本だと思う。市当局はガス抜き会議をやめなさい。結論(さるびあ廃止)が出ているんだろう。

・図書館の職員の方も大変だと思うが、前に出て積極的に良い図書館にしてほしい。

・集約の意味を2つの図書館の機能を合わせて新しく配布する考えると良いと思う。さるびあ図書館はなくさないでください。

・さるびあがなくなれば確実に周辺に住む子供達の読書量が減ると思います。電子に一部頼るのは問題ないと思いますが、紙媒体でしか得られない経験、教育は多数あると思います。ぜひ存続の方向で考えてください。